

## 馬場ひでゆきの活動日誌

No.74

## おしゃべり会in事務所

Oba+(オバプラス) 拡大版

9月2日

私のことを知ってもらいたい、政治のことを考えてもらいたいと思って始めた出張おしゃべり会。すこしずつ皆さんにも認知されてきました。今回は当事務所で勉強会を重ねてきた皆さんが、知人友人をお誘いしての「おしゃべり会」をしました。その様子を報告します。



私の事務所では、支援者の皆さんが集まって、定期的に勉強会を開催しています。当初は中高年の女性の皆さんばかりでしたが、その後男性も加わった（プラスされた）ことから、勉強会の名称が『オバプラス』と名づけられました。

今回は、従前のメンバーがそれぞれの友人に声掛けて人数が拡大した会になりました。

私は、上越市の水不足の問題を取り上げました。いろんな疑問や意見が出てきました。

★テレビは、正善寺ダムの映像ばかり流すけれど、城山浄水場が回復しないと安心できないんですね？

そのとおりです。城山浄水場と正善寺浄水場とは相互補完の関係になっていきます。春先は雪解け水が流れ込んでくる城山浄

水場をフル活用し、その間、正善寺ダムには水をため込みます。そして、夏場は河川の水が少なくなるので、貯めていた正善寺ダムの水を一気に流します。

だから、不安なく供給されるためには、城山浄水場で、県営高田発電所の水管破断事故が起る前と同程度の供給水量（4万<sup>m</sup>程度）を確保することが必要なのです。

上越市によれば、後谷ダムからの水を城山浄水場に流す仮設工事が8月31日に完了したとのことですが、供給能力は2万<sup>m</sup>、まだまだ足りません。従前の能力を回復するための本工事が急がれます。

★マスコミの報道を聞いていてもなかなか全体像がわからなかった。市はきちんと情報を伝えていたのですか？

私の感想ですが、市は、その都度大事な情報を伝えていました。ただ、情報の出し方が常に小出しであり、市の情報媒体も主に市のホームページであったため、それを読んでいないとなかなか理解できなかったのではないかと思います。

マスコミも、市の情報提供をそのまま流すだけでした。水不足が生じた原因（県営高田発電所の水管破断）から掘り下げて報道する姿勢があったら、大分変わったかもしれないと思います。情報伝達は今後の課題です。

★参加者からは他にも意見や感想が続々（内容は左のとおり）

●今回、水って大事なんだなあとつくづく思った。冬に降った雪を貯めて飲料水にするアイデアはないのだろうか。海の水を使う技術だってあるのでは。

●給水スポットが設置されたけ

れど、高齢者が20歳のポリタンクに水を入れて運ぶなんて大変だ。しかも我が家は高床式、高齢者への援助が今後の課題なのではないか。

●我が家は、屋根のトヨを細工して雨水をためる工夫をした。エアコンから出る水を貯めていたという人もいます。それぞれの節水生活をコンテストでもやって披露してみるのもいいかも。

※ いろいろなどころにお邪魔して「おしゃべり会」を開いてきました。どの会も、5〜10名程度の少人数なので、皆さんが積極的に話してくださいます。私も、疑問にはきちんと回答します。「参加して楽しかった」と言っていただけのが何よりも嬉しい。これからも続けます。



今回の様子です。どんな場所にも人数にも応じてお話しします

募集中

出張馬場の  
おしゃべり会

少人数の「おしゃべり会」をさせていただける場を設けてくださる方を募集中です。

お茶飲み友達や、趣味の仲間などにお声掛けいただければうれしいです。ご希望があればどこでも行きます！

お問い合わせは事務所まで。  
☎025-546-7110

## コーン Break

### 「秋の長雨」

私は、大学を卒業しても司法試験に合格できず、しばらく勉強を続けてました。収入もないので、新聞配達のパイトをしました。したといっても、期間は僅か8～9月の2カ月程度です。

配達地域は、東京の上野、谷中、根津、毎朝4時に起きて、新聞を取りに行き、自転車を漕いで配達しました。本郷と上野の山にはさまれて、谷中、根津の下町があり、谷中から上野の山を上って下ります。自転車でのアップダウンは結構大変で2～3時間はかかりました。

サザンのCDがあったので、それをカセットテープにダビングして携帯用のカセットデッキをカゴに入れて、サザンを聴きながら自転車を漕ぎました。

パイトをした年の9月は、特に雨の日が多かったです。雨が降る都度、雨合羽を来て自転車に乗る、合羽を着ても2、3時間自転車を漕げば、中の着物はびしょびしょになりました。

結局、毎日朝4時に起きるのがしんどくなってやめました。でも、その当時の私の友人はずうっと新聞配達を続けていました。だから、9月に雨が降ると、自転車で上野の森を走る自分の姿を思い出します。何となく苦い思い出です。

川小学校の付近の様子を見てきました。どちらの地域も道路の一部が冠水し通行止めになっていました。

近年の異常気象で、豪雨がいつ襲ってきてもおかしくありません。当然ですが、周辺よりい

### 五智1イチコ直江津店付近



水嵩が増してくるのでとても怖くなりました。

帰りに頸城区の工業団地や南

## 記録的大雨上越直撃

### 直江津など各地で被害

9月3日の午前に記録的大雨が降り、直江津地区を中心に冠水・浸水の被害が出ました。

私は、この日、仕事で直江津地区に向かっていた。五智1丁目のイチコ付近では道路が川のようになり、2台の車が動けなくなっていました。ほとんど水嵩が増してくるのでとても怖くなりました。

### 頸城区南川小学校付近



低地になっていて、冠水・浸水の被害がだれ込み、発生しています。

今後のためにも、行政や地域の皆さんと連携して、それぞれの地元の地形的特徴を知っておく必要があると思いました。

### 8/6 高田南城高校振興会 評議員会

高田南城高校で、同校振興会の評議員会が開催されました。評議員会は上越市、妙高市、糸魚川市の各市長、各教育長、各県議会議員、同校のPTA役員などの委員で構成されています。

意見交換では、同校で実施されている『通級指導教室』『ミライ』講座が話題になりました。

### ●通級指導とは？

通級指導教室は、特別に支援が必要な生徒に対して、通常の学級で授業を受けさせながら、一部の授業について、自立活動

の指導をするという教室です。高校の場合、県内では5つの高校（上越地域では高田南城高校のみ）に設置されています。

高田南城高校の講座も、授業などに集中できない、じっとしてられない生徒、対人関係や対話が苦手な制度などを対象に★「困り感」を軽減する★自らの得意・不得意を知り、得意を延ばし苦手をカバーする★自分に自信を持てるようにする、を目標として取り組んでいます。

### ●大切な活動！ずうっと取り組んでほしいとの声！

評議員からは、「悩みや不安があり、先の見通しが立てられない生徒たちにとって大事な活動だ、生徒に認知されており、大変効果があるように思う」「小学校の特別支援教育コーディネーターから南城高校に通級指導があるというのを聞いた、いい取組だと思う。中学校の校長会で積極的に南城高校の取組を積極的に伝えていきたい」との意見がありました。

また、「今後の課題が何か」との評議員の問に対して、同校の担当教諭は、「ずうっと続けていくことが課題だ。職員の転勤があるので、持続可能なものにするためには学校全体で取り組む必要がある」「自分の考えと人の考えが違うと言うことを知る活動は効果的。ただ、『ミライ』講座の対象生徒はわずか。同講座の内容を一般の授業の中に取り入れてもらえるように考えている」と話されました。

高田南城高校は、多様な生徒を受け入れる地元の大変な学校です。これからも応援します。

発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイアパレス高田武番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp